



9月のほけんだより

平成27年 第178号



子どもの事故防止

子どもによる医薬品等の誤飲事故に注意！

子どもによる大人用の医薬品の誤飲が多く発生しています。子どもの行動の特徴をふまえ、特に、子どもが誤飲すると入院等の重い中毒症状を呈するリスクが高い医薬品(向精神薬、気管支拡張剤、血圧降下剤及び血糖降下剤)の家庭における保管については十分注意しましょう。

【こんな事故が起こります：消費者庁より】

箱を踏み台にして高さ80cmのデスクによじ登り、棚の上の箱に入れていた薬を取り出し誤飲した。(2歳 男児)

鼻水のために処方された本人用のシロップ剤7日分を、目を離した隙にすべて飲んでしまった。(2歳5か月 女児)

祖母が枕元に置いていた睡眠薬を、目を離した隙に誤飲した。(1歳2か月 男児)

クリームを体に塗った後、しっかり蓋を閉めたつもりだったが、子どもがチューブをくわえていた。(1歳1か月 男児)

家庭での医薬品の保管のポイント！



- 子どもの手の届かない、見えない所に保管しましょう。
- 保管する場合には、鍵のかかる場所に置く、取り出しにくい容器に入れるなど、複数の対策を講じましょう。

【たばこの保管にも注意が必要です！】

5カ月くらいになると、赤ちゃんは物をつかめるようになり、何でも口に入れようとしてます。特に、たばこは2センチ以上飲み込むと、ひどい中毒症状が出る恐れがあります。

また、灰皿代わりに使った空き缶に残った液を飲んでしまうと、乾いたたばこより吸収が早く危険です。空き缶を灰皿代わりに使うのはやめましょう！

相談機関等。

どこに相談していいのか
わからない時には・・・

☆小児救急電話相談（365日 19時～翌朝8時）

#8000 （携帯電話・プッシュ回線）

082-505-1399 （携帯電話・プッシュ回線以外）

☆中毒110番

029-852-9999 つくば中毒110 （365日 9時～21時）

072-727-2499 大阪中毒110 （365日 24時間対応）

☆たばこ専用電話（テープによる情報提供）

072-726-9922 （24時間対応）

☆呉市医師会小児夜間救急センター

0823-32-1299 （19:00～22:40）

☆消防署

119



通話料は利用者負担になります。



カルガモ一家をモチーフに、その親鳥が子ども達を暖かく見守るその姿を通して、子どもへの愛情と、子どもの身の回りにあるちょっとした危険を親しみやすく伝えていきます。

消費者庁が推進する「子どもを事故から守る！プロジェクト」のシンボルキャラクター

ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>